

生石子の言神倉ハ陰陽二神主婦のおとく
歌坐付天女降り社を造くんと擬を既し黎
明よなて起立し暇あゝん遂に上天しさる
のこ昂今の石室殿是なり生石ま人の歌よ
よめ。志那の石室といふは是なりとを白井
宗因曰按陰陽二神主婦のことといふ大己
貴命少彥名命をいふり古來のお傳けあり
即生石村との歌よ

大汝少彥名乃將座志都乃石室者幾代
將經

とあり傳の五神ハ本朝醫術の大祖神之
由生石山延命寺の堂地并境内あり石室
林の田畠の中にもありたれに播別
生石子の言神倉を撰して陰陽二神を記し
地まやちまを延命寺と稱するも二神を
日本醫術の祖神なれを伝作の人を延命に
ちまをあらとの心して延命寺といひまや
三月三日をちまと稱して多々ハけ神といふ
説ありまなハ少彥名の略なりと神中の
清水といふ。神書に見へりけ山の草創